

IV 令和5年度普通会計の決算状況

普通会計とは、地方公共団体の財政状況の把握や財政比較等のため、統計上統一的に用いられる会計単位で、公営事業会計以外の会計を一つの会計としてまとめたものです。

本市では、令和4年度まで一般会計及び公共用地造成事業会計をまとめて普通会計としていましたが、公共用地造成事業会計は令和4年度中をもって廃止したため、令和5年度は一般会計のみを普通会計とし、公営事業会計で整理すべき歳入及び歳出を控除して正味の決算額(純計決算額)を算出しています。

1 普通会計決算規模及び決算収支

令和5年度の普通会計決算額は、歳入785億3900万4千円、歳出761億4586万4千円となり、前年度に比べ、歳入30億2066万1千円(伸率+4.0%)、歳出32億8982万1千円(伸率+4.5%)がそれぞれ増加しました。

この結果、歳入歳出差引額(形式収支)は、23億9314万円で、この形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源5億9333万3千円を控除した実質収支は、17億9980万7千円となりました。

なお、実質収支(剰余金)は、その1/2以上を財政調整基金に積み立てるなど次年度以降の財源調整に活用しています。

第9表 普通会計決算収支の状況

(単位:千円)

区 分	令和5年度 a	令和4年度 b	比 較	
			a-b	a/b×100
歳 入 総 額 A	78,539,004	75,518,343	3,020,661	104.0%
歳 出 総 額 B	76,145,864	72,856,043	3,289,821	104.5%
歳入歳出差引額 (A-B) C	2,393,140	2,662,300	△269,160	89.9%
翌年度へ繰り越すべき財源 D	593,333	718,450	△125,117	82.6%
実 質 収 支 (C-D) E	1,799,807	1,943,850	△144,043	92.6%
単年度収支 (E-前年度E) F	△ 144,043	△ 325,121	181,078	-
財政調整基金積立金 G	1,268,998	1,464,892	△ 195,894	86.6%
" 取崩額 H	2,035,256	1,475,960	559,296	137.9%
市債繰上償還金 I	20,290	239,109	△ 218,819	8.5%
実質単年度収支 (F+G-H+I) J	△ 890,011	△ 97,080	△ 792,931	-